

平成28年12月26日発行

地域の夢と希望のみちづくり

みちづくりかわら版 第137号

山陰近畿自動車道(鳥取豊岡宮津自動車道) 野田川大宮道路の工事進捗状況を中心にお知らせしています。

発行: 京都府道路公社建設事務所

〒626-0003

宮津市宇津師1775-26

Tel: 0772-22-6580

Fax: 0772-22-6646

HP 道路公社サイト

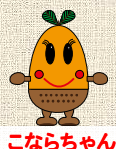
<http://www.kyo-doko.jp/>

フェイスブックとツイッター始めました!

Facebook <https://goo.gl/39oPLI>

Twitter <https://twitter.com/kyotodourokosa/>

「みちづくりかわら版」最終写真特集号!



最終号
ナラ〜♡

『みちづくりかわら版』は、野田川大宮道路の完成にともない、今回の第137号をもって一旦終了となります。

みなさまの長年にわたるご愛顧に心から感謝申し上げます。

またいつの日かの復活を楽しみにお待ちしております。

『みちづくりかわら版』最終号への寄稿

今回の『かわら版』137号で、最終号になるとのこと、平成17年5月の発行から概ね11年半にわたり発行を継続されてきた編集担当者の皆様に心から敬意を表します。

元々、山陰近畿自動車道建設に関して、工事の進捗状況などを地域の皆様や府民の皆様に広く知って頂き、また公共事業への理解を深めて頂くことを目的に発行されたと聞いております。その甲斐もあって地域の皆様のご理解とご協力という力強いご支援も得てこの度、平成23年3月の宮津と謝道路に続き、10月30日には野田川大宮道路の開通を迎えることが出来ました。

『府民とともに造る道』『府民から末永く愛される道』、この『かわら版』は、新しい公共事業のあり方のモデルともなるものと確信いたしております。

ランドマークともなる『上宮津大橋』や『野田川高架橋』など、公共事業ならではの圧倒的存在感のある構造物、京都府管理では最長となる『地蔵トンネル』や国道312号現道の交通難所を回避する『水戸谷トンネル』など、大型の構造物を造り上げ、地域の皆様に提供することが出来ました。これも、地域の皆さんに支えられた道路公社建設事務所の皆さんの不断努力と優れた技術力がもたらしたものです。それぞれに、地域に生活する人々が日常的に利用する生活の道であり、京都府北中部の観光をはじめとした産業振興の道でもあります。

今回の野田川大宮道路の開通をもって、ひとまず建設事務所はその役割を終え閉所する予定としておりますが、お支え頂いた地域の皆様に感謝申し上げます。そして忘れてはならないのは『水戸谷トンネル』工事中の事故のことです。改めてお亡くなりになった、深井様のご冥福を心からお祈りいたします。

開通の喜び、事故での悲しみ、様々なことを学んだ道路でした。この道路建設に関われたことに誇りを持ち、次のステップへと歩みを続けたいと思います。

長い間、本当に有り難うございました。

京都府道路公社理事長 神 敏郎





京都縦貫自動車道
(丹波綾部道路)

野田川大宮道路の工事では
騒音・振動などでご迷惑を
おかけしました。

『みちづくりかわら版』最終号の発刊にあたって

みちづくりかわら版は、山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の事業内容や工事の進捗状況を広く府民に知っていただき、公共事業の理解を進めようと、平成17年5月に1号が創刊され、11年8ヶ月の歳月を経て、今月号で最終号となりました。

創刊当時、宮津与謝道路（仮称宮津野田川道路）につきましては、与謝天橋立ICは概成しており、地蔵トンネルは掘削中、上宮津大橋は上部工の工事中でありました。その後、平成20年4月に地蔵トンネルが貫通し、平成23年3月に開通しました。また、野田川大宮道路は、平成17年度から事業化され、平成26年12月野田川高架橋の開通式、平成27年1月水戸谷トンネルの貫通式を経て、今年の10月30日に開通しました。

このように、工事が順調に進んだのも、地域のみなさまのご理解・ご協力があったからこそ成し遂げられたことと感謝しております。誠にありがとうございました。

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道と直結しており、京都府北部地域の観光・産業・経済の活性化になくてはならない道路であり、北部地域と京都間の高速化、定時性や安全性の確保に貢献しております。

さらに、今年度内には新名神高速道路の城陽～八幡間が完成する見込みとなっており、京都府の最北端の京丹後市から最南端の木津川市までが高速道路で繋がります。また、野田川大宮道路の先線の大宮峰山道路も、平成27年度から国による直轄代行事業として実施されております。これらの事業が進めば、ますます、京都府北部地域の活性化が加速するものと考えております。

今年度、今回の野田川大宮道路の開通をもって、道路公社建設事務所は27年間の役目を終えひとまず閉所の予定となりますが、これらの高速道路ができた暁には、この社会資本をツールとして、北部地域を含め京都府全域がますます発展することを心より期待しております。

京都府道路公社建設事務所長 吉岡 正男

宮津与謝道路